

各学年の先生方紹介

社会に必要な能力を身に付けよう

第三学年主任

北村 清

いよいよ最高学年がスタートしました。今年度は生徒にとって人生を左右する進路決定の年となります。何事もスタートが肝心です。良いスタートを切り、自分の進路決定のために努力をして欲しいと願っています。進路希望を早期に具体化し、情報を収集し、進路先を見学して対策を講じるなど実際に行動を起こして下さい。

現在の社会情勢は進路決定を目の前にした生徒達にとって非常に困難な状況にあります。経済産業省の調査では、企業が学生に求める能力として実行力を一番に挙げており、また学生自身は身についているかと思っているが、企業から見ると不足している能力として粘り強さや主体性を挙げています。この一年間、様々な壁に直面し苦しいことも沢山あると思いますが、受験勉強を通して

して社会に必要な能力を身に付けて欲しいと願っています。

保護者の皆様はお子様の良き相談役として共に進路について考えて頂きたいと思っています。



保護者の皆様へ

第二学年主任

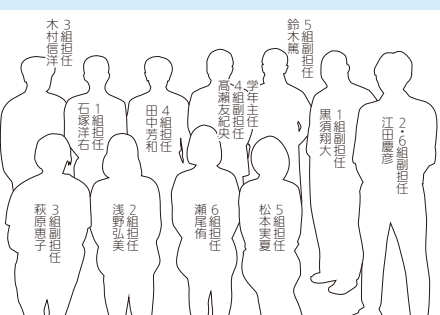
高瀬友紀央

日頃から本校の教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。二学年になり、文系・理系に分かれ、新たな気持ちで学習や部活動に取り組む者が多く見られます。中たるみななどといわれる二学年ですが、現在のところ一学年の頃と比べて大きな変化はないようです。多くの生徒が積極的に学習・学校行事・部活動に取り組んでいるのを見てほっとしているところです。

進路指導部では二年生を自己発展の時期と捉えています。そこで、是非この一年を自己理解を通して適切な目標を見つける一年にしたいと思っています。生徒たちには、こんな話をしていきたいと思えます。「まず自分をよく知らなければ何事も始まらない。」「どんなことに興味関心があるのか。」「何が得意か、不得意か。」「どんな考え方の持ち主なのか。」「これらは自分自身でも当然思いつくことだと思います。また自己理解の中で自分は今何を求められているのか、どんな立場にいるのか、何をしなければならぬのか。なども考えてほしいと思っています。自己理解は考えて得られるものばかりではありません。授業だけでなく、部活動、生徒会活動、文化祭などの行事、ボランティア活動の中で友人と接し、さまざまな生き方、考え方に触れることも得られます。学校という集団のなかで様々な体験を積

み、その中で「何をすべきから将来の目標を見つけてほしい」と思っています。

高校生活に慣れてくると、見失いがちになるのが将来の目標です。今後の進路を考えていく上で重要な高校二年のこの時を悔いの残らないように計画を立て、目標に向かい努力を重ねる一年間にしてほしいと思います。



保護者の皆様へ

第一学年主任

小島 孝彦

日頃から本校の教育活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

桜が満開を迎えた春、第一学年は二三七名の生徒でスタートしました。オリエンテーションから始まり、様々な行事と通常の授業を通して、本校の生活に慣れてきたことと思います。入学当初、緊張していた顔つきは穏やかになり、明るく笑顔で過ごす生徒も見られるようになりました。スプリングセミナーでは予習↓授業↑復習の仕方（黄金のサイクル）を学び、学習時間が増え、努力を継続できる生徒も多いようです。

この学年は古河三高の第五十回生として、大学入試では新テストに臨むこととなります。将来の目標に向かって、学習活動に積極的に取り組み、自己発見するための様々な活動に

挑戦し、心身ともに自分を磨き続ける三年間にしなくてはなりません。一学年職員一同、生徒一人一人の進路実現に向けて、真摯に指導していききたいと思います。

